



予期しない妊娠への相談対応研修

～ 現場で役立つ知識を学ぶ～



児童虐待の相談対応件数は依然として増加傾向にあり、虐待死亡事例のうち、0歳児の割合が約5割（H29年）であることを踏まえ、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援や、地域社会から孤立している妊婦へのアウトリーチなどを通じて、妊娠や子育てに対しての不安、孤立等に対応

した適切な支援が必要です。若年妊娠では未婚であったり、地域社会との接触もほとんどない等、周囲の協力が得られにくい場合も多く、市町村や医療機関等の支援等を通じて孤立しないようにしていくことが大切であり、若年層についても相談がしやすい体制を整備し、周知することが重要です。本研修では、予期せぬ妊娠に悩む女性の背景と課題について知り、実際の支援現場で役立つスキルを学ぶ目的により開催されます。

基礎編

【日時】 2021年2月5日（金）
受付 8:30～ 9:30～16:30

【場所】 天神121ビル13F
アーバンオフィス天神
福岡市中央区天神1-3-38

【対象】 保健師・助産師・看護師・医師
養護教諭・福祉関係者等の専門職
※ 学生・一般の方は対象外です。

【受講者】 50名（先着順）

【参加費】 4,000円（ガイドブック代含む）



【必ずお読みください】

- 研修では「妊娠SOS相談対応ガイドブック（第5版）」を使用します。
- 遅刻・早退は原則禁止をお願いいたします。研修終了後に受講証をお渡しいたします。
- アドバンス研修にご参加の方は、基礎編でお渡しした受講証をお持ちください。
- 会場へは公共交通機関をご利用ください。
- 昼食は各自ご用意ください。会場での飲食は可能です。

アドバンス編

【日時】 2021年2月6日（土）
受付 9:00～ 10:00～16:45

【場所】 天神121ビル13F
アーバンオフィス天神
福岡市中央区天神1-3-38

【対象】 基礎編を受講された方
（前日に受講された方も参加できます）

【受講者】 50名（先着順）

【参加費】 1,000円

申込締切：2020年12月26日（土）
※ 定員になり次第、締め切らせていただきます。

主催：社会福祉法人 福岡県母子福祉協会
共催：全国妊娠SOSネットワーク
助成：日本財団
後援：福岡市・日本助産実践能力推進協議会・母子保健推進会議



基礎編 プログラム・講師（9：30～17：00 受付8：30～）

「妊娠SOS 相談が求められる背景と現状」～子育て世代包括センターの展開をふまえて～
専任講師：佐藤 拓代（母子保健推進会議会長、医師）

「予期しない妊娠をした女性への質の高い相談対応」
専任講師：松岡 典子（MC サポートセンターみっくみえ代表、助産師）

「予期しない妊娠をした女性の背景とその支援」
専任講師：赤尾 さく美（一般財団法人ペアホープ理事、助産師）

「母子生活支援施設の役割と可能性」
講師：大神 嘉（社会福祉法人 福岡県母子福祉協会 母子生活支援施設百道寮 施設長）

「育てられない女性と子どもの福祉」～特別養子縁組～
専任講師：赤尾 さく美（一般財団法人ペアホープ理事、助産師）



アドバンス編 プログラム・講師（10：00～16：45 受付9：00～）

講義①「妊娠葛藤相談の法的対応」（貧困・生活保護 他）
講師：緒方 枝里（九州合同法律事務所 弁護士）

事例検討①「貧困妊婦」と発表、フィードバック

講義②「若年妊娠」
講師：太田 寛（アルテミス ウイメンズホスピタル 産婦人科医）

事例検討②「若年妊娠」と発表、フィードバック

※ アドバンス編の参加資格はパッケージ研修の基礎編を受講した方です。お申込みの方は過去に基礎編を受講された方が、今回受講された方に限ります。当日受講証を必ずお持ちください。

※ アドバンス助産師「ウイメンズヘルスケア：WHC」更新申請のWHC研修（予期せぬ妊娠をした女性の支援：6時間）として認められます。

【お申し込み方法】※事務手続き上、できるだけメールでのお申し込みをお願いいたします。

1. メールによる お申し込み

メール本文に ①参加者氏名 ②所属 ③職種 ④電話番号 ⑤メールアドレス ⑥参加希望日 ⑦アドバンス助産師の更新研修の方は、「更新」とご記入いただき、comomo@fukubo.or.jp まで、お送りください。

2. FAXによる お申し込み

FAX専用申込用紙にご記入いただき、092-851-2358 まで送信してください。

※ 後日、参加チケットを郵送します。メールでお申し込みの方は、メール返信します。当日ご持参ください。

【定員について】

定員に達し次第 締め切りとなります。最終締切日は、**12月26日（土）**です。ご注意ください。

その他、ご不明な点がございましたら、お手数ですが事務局までご連絡ください。

※ 申込期間：令和2年11月2日（月）～12月26日（土）

【事務局】（お問い合わせ先）

社会福祉法人 福岡県母子福祉協会 母子生活支援施設百道寮

TEL：092-400-0780 FAX：092-851-2358

<担当> 佐藤・満生・入江

主催：社会福祉法人 福岡県母子福祉協会
共催：全国妊娠SOSネットワーク
助成：日本財団
後援：福岡市・日本助産実践能力推進協議会・母子保健推進会議
事務局：社会福祉法人福岡県母子福祉協会 母子生活支援施設百道寮



プログラム

基礎編 2月5日(金)

「妊娠SOS相談が求められる背景と現状」
 「予期しない妊娠をした女性への質の高い相談対応」
 「予期しない妊娠をした女性の背景とその支援」
 「母子生活支援施設の役割と可能性」
 「育てられない女性と子どもの福祉」

アドバンス編 2月6日(土)

「妊娠葛藤相談の法的根拠」
 事例発表①「貧困妊娠」と発表、フィードバック
 「若年妊娠」
 事例発表②「若年妊娠」と発表、フィードバック

【アクセス】

JR博多駅より地下鉄空港線
 天神駅下車
 バス 46・63番系統にて
 天神1丁目下車徒歩1分

福岡市市営地下鉄 空港線
 天神駅 14番出口より
 徒歩6分

【注意】

新型コロナウイルスの感染拡大により研修を中止する場合には、申込者に個別にご連絡いたします。予めご了承下さい。



参加申込書

F A X : 0 9 2 - 8 5 1 - 2 3 5 8

※ アドバンス助産師更新の研修としてご参加の場合は、申込書「希望日」の欄にを入れてください。

| | | | | |
|------------|------------|----|----------------|------------------------------|
| 所属 | | | TEL | |
| 住所(参加券返送先) | | | FAX | |
| 代表者名 | | | E-mail | |
| 参加者名 | フリガナ 氏名 | 職種 | 希望日(0を付けてください) | |
| | | | 2/5 | 2/6 <input type="checkbox"/> |
| | | | 2/5 | 2/6 <input type="checkbox"/> |
| | | | 2/5 | 2/6 <input type="checkbox"/> |
| 参加券の送り先住所 | 〒 | | | |
| 所属・氏名 | 所属 | 氏名 | | |

※ 足りない場合は、コピーしてお使いください。

研修を受講される皆様へのお願い



○ 来館におけるお願い

- 来館前に自宅での検温を必ず行っていただき、発熱（37.5℃以上）や風邪症状ある場合は来館をご遠慮ください。
- 必ず、マスク着用でご来館ください。研修中も原則マスクの着用をお願いします。
- 会場の入口での手指の消毒を行ってください。

○ 研修でのお願い

- 来館時にはスタッフによる検温をします。発熱（37.5℃以上）が確認された場合、体調不良が確認された場合は会場内への入室をご遠慮ください。
- 受付や会場での入退室時は人との距離を十分確保のため、入室時間を分散します。参加券に詳しく記載していますので、ご覧ください。
- 受付など対面する場では感染予防対策をしています。ご理解ください。
- 会場での換気はスタッフによる定期的な換気をします。
- 休憩時間や昼食時の交流は極力控えるようにお願いします。
- 会場での飲食は可能ですが、ゴミ等は各自で持ち帰るようお願いいたします。

*** 集団感染（クラスター）が発生したと疑われる場合は参加者リストを提出する場合があります。ご了承ください。
ご不便をお掛けいたしますが、安全に研修を開催するため、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。**